



# きくよう



TSMCミュージアム見学



新竹サイエンスパーク研修



宝山郷の皆様と

目次	◎表紙 (子ども議会・議会台湾TSMC研修)	議会の活動状況 .....	P12~13
	令和5年度 子ども議会 開催 .....	一般質問 .....	P2~5 P14~20
	令和4年度決算 .....	研修報告 .....	P6~7 P21
	定例会・臨時議会 .....	議会台湾TSMC研修報告.....	P8~9 P22~23
	常任委員会報告 .....	Tea Time .....	P10~11 P24

# も 議 会 開 催

(菊陽町の未来のために) ~

午前10時開会 場所：菊陽町役場3階 菊陽町議会議場

「さん」と輝く生活都市 きくよう」の実現に向けて、

(教育、健康、子育て、福祉、環境、土地利用、交通、防災、防犯、産業、住民参画、人権など)



## Q 町交通渋滞の緩和と道路整備について

### A 国・県・近隣自治体と連携し、交通渋滞の緩和を進める

**町長感想** 町としては、今後も、交通渋滞の緩和や道路の適切な維持管理に努めるとともに、皆さんが安全・安心に登下校できるよう努めたい。

**A** 渋滞対策として、国・県・近隣自治体と連携し、菊陽空港線の整備・主要交差点の改良・中九州横断道路の整備・県道大津植木線の整備・合志ICアクセス道路の計画を進めている。

**Q** 通学路の中にも、でこぼこしていたり、草が生い茂って危険な道路がたくさんある。今ある道路を整備する計画はあるのか、また新しく道路をつくる計画はあるのか。

**A** 町としても公共交通機関の利用促進は有効な対策と考えている。乗り合いタクシーや巡回バス、セミコン通勤バスを安価で提供している。



ふくい みゆ  
福井 海優 議員  
(菊陽中)

## Q 菊陽町の地域活性化について

### A 住民が、菊陽町に住み続けたいと思えるまちづくりに取り組む

**町長感想** 町長就任の挨拶で、町民が「心を満たし、人生を楽しむ」と提言した。すべての町民が、笑顔で、しあわせで、誇れて住み続けたいと思えるまちづくりを進めていく。

**Q** 将来、私たち若者を含め多くの人が、菊陽町に住み続けたいと思うための取り組みとして、町内の誰もが自由に参加することのできる「住民交流会」の開催と、TSMCや関連企業の求人において「地元就職枠」の導入を提案するが、町はどのように考えているか。

**A** 固定資産税などの税収増によって、医療や福祉の充実、特に子育て世代や高齢者の生活環境改善や経済的負担の軽減を図りたい。



おくむら だいき  
奥村 大輝 議員  
(武蔵ヶ丘中)

# 令和5年度 子ども

～まちづくりは人づくりから

主催：菊陽町 菊陽町教育委員会

とき：令和5年8月8日(火)

## 議題

「第6期菊陽町総合計画」に掲げる本町の将来像「人・緑・未来」子どもたちの感覚や視点を生かして、将来の菊陽町の姿を考える。

### Q 災害への対応について

A 広報誌による情報提供・自主防災組織の支援・防災訓練などに取り組んでいる

**町長感想** 災害時においては、命を守る事が一番大事。日頃から災害への備えを家族で話し合ってほしい。町としても自治会や企業とも連携し、共存共生できる住みよい町づくりを進める。

A 町では、外国籍の方向けに生活ガイドブック（英語・中国語）を作成し、ホームページに掲載している。その中で緊急時の通報方法や災害時の対応なども紹介している。

Q 町の人口増加に伴い、外国籍の方も今後さらに増加すると思われる。災害発生を想定し、言葉がわからない外国籍の方向けに避難訓練などを行うことが必要ではないか。

A 町民の防災意識向上のため、広報誌による情報提供や自主防災組織への支援、防災訓練を実施している。

Q 町民の防災意識の向上として、ハザードマップだけではなく避難所だとすぐ分かる看板の設置などの取り組みも必要だと考える。町民の防災意識の向上にどんな取り組みをしているか。



なりまつ 成松  
りのん 凛音 議員  
(菊陽中)

### Q 菊陽町の教育について

A 就学や生活サポートについて、外国の子ども受け入れの整備をすすめる

**教育長感想** 違う文化や価値観に寄り添うには、相手を思いやる想像力が必要で、豊かな考え方が身につく。また、学ぶことを自ら求めることは、自分を成長させるたくましさにつながる。

A 本年度は、小学校でプログラミング教育の出前授業を計画している。今後は中学校での実施にも取り組む。

Q TSMCなどの進出に伴い、地域には半導体に関する技術者がたくさん来ると思われる。そこで、私たちのためにプログラミングなどについて学べる機会を、積極的に提供してもらえないか。

A 町の受け入れ拠点として武蔵ヶ丘小、武蔵ヶ丘中が紹介され、日本語指導の先生がそれぞれ2名配置されている。さらに通訳や生活サポートについても整備を進めている。

Q TSMCに関連して、さまざまな国にルーツを持つ子どもたちが来ると予想される。その子どもたちが就学する場合の支援や受け入れはどのようになっているのか。



さわむら 澤村  
まゆ 真柚 議員  
(武蔵ヶ丘中)





ひろた わたる  
議事進行を行う廣田 巨議長

今回は子ども議会を開催していただき、ありがとうございます。  
このような機会を設けていただいたことで、今まで知らなかった町の政治や経済について詳しく知ることができました。たくさんの人のおかげで今の私たちの平和な生活があり、安心して学校に通うことができていることも改めて感じました。

また、一般質問では一つ一つ丁寧にお答えいただき、ありがとうございました。  
私たちは、町子ども議会に向けてミーティングを重ねてきました。将来、自分たち若者に魅力的な街とはどんな街なのか、意見を

## Q 学校内のタブレット使用環境の整備について

### A 予備機の貸し借りや、インターネットの利用状況等を調査して改善していく



いしばし ひろと  
石橋 央羽 議員  
(菊陽中)

**Q** タブレットの修理期間も速やかに活用できる環境を整えてほしい。

**A** 昨年度は約550件、全体の1割を超えるタブレットを修理した。現在、各中学校に学級数分の予備機を整備しており、今後は小中学校間で予備機の貸し借りをを行うなど、対応を工夫する。

**Q** 今後、学校のインターネット環境をどのように整えていくのか。

**A** 現在、学校内に240台の無線アクセスポイントと持ち運び可能なWiFiルーターを整備している。令和3年度よりタブレット用回線の強化を行っているが、今後は利用状況や接続状況を調査し、回線の変更も前向きに検討していく。

**教育長感想** 人を豊かに、自分を豊かにするようタブレットを使用してもらい、皆さんが日本や世界で活躍してくれることを心から期待している。

## Q 自然保護に関する町の取り組みについて

### A 地下水涵養や町外での植林活動をしており、他団体と共同した水質の監視も行っていく



おおしま ゆうと  
大島 優人 議員  
(武蔵ヶ丘中)

**Q** 土地の開発が進むなか、自然保護に関する町の考えは。

**A** 町は白川中流域に位置し、他の地域に比べて高い涵養能力があり、昨年度も年間の地下水使用量を超える地下水涵養が行われている。また、環境保全のため町外で植林活動も行っている。水質について、県等が水質調査を行っているが、町も他団体と共同して監視をしていく。

**Q** 町は交通事故防止対策として、どのような取り組みを行っているか。自転車専用道路は導入できないか。

**A** 道路管理者である県に道路拡張や歩道整備の要望をし、町でも通学路の点検、交差点や歩道のカラー舗装、カーブミラーの設置等を行っている。自転車道については、現状の道路は幅員上困難であるが、新たな道路を計画する際に検討していく。

**町長感想** 町は近隣市町村とともに地球温暖化対策にも取り組んでいる。米食も地下水の涵養につながるため、米をたくさん食べてほしい。



代表挨拶を行う江里口大星議員

議員代表 江里口大星

出し合ったり、質問、要望を考えていくなかで、フィールドワークをしながら菊陽町のことを調べたりしました。このような行動をすることが、町のことを考えていく第一歩だと感じています。3年後、私たちは投票権をもちます。5年後は多くの人が社会人として働き始めます。10年後は、ほとんどの人が働いていると思います。その時に私たち一人一人が町の政治や経済に興味を持ち、世界的な企業の進出も含め、住みやすい町として発展を続ける菊陽町の力になれるように今後も努力していきたいと思っています。

## Q IT化に伴う町の図書館の取り組みについて

### A WEB予約システムを導入し、電子書籍では本が読みやすくなる機能を設ける

**教育長感想** 図書館も変化を求められる時期にあるが、実際に手に触れて読む本の大切さも、豊かな心を育む上では重要であると思っている。

**A** 自宅のパソコンやスマートフォンから本を予約できるようWEB予約システムを導入している。また、今秋に導入予定の電子書籍については、音声の読み上げや文字サイズの拡大等、読書が困難な方々でも本が読みやすくなる機能を設けている。

**Q** 近年進むIT化に伴い、読書活動の推進のため、町の図書館はどのようなことに取り組んでいるか。

**A** 幼少期から読書に親しんでもらえるよう児童コーナーを設け、定期的にはなし会や紙芝居を行っている。また、図書館で学習できるよう学習席や社会人ルームを設け、WiFi環境の整備もしている。

**Q** 全国的に図書館の利用者が減少するなか、町の図書館はどのようなことに取り組んでいるか。



よねもり な ゆう  
米森 那由 議員  
(菊陽中)

## Q 子育てに悩む人たちに対する町の取り組みについて

### A 各支援センターで子育て相談を受け、各事業による子どもの預かりをしている

**町長感想** 子どもたちが心豊かに育ち、保護者の方々も喜びや生きがいを感じながら子育てできるように、子どもたちが安心して登下校できるように町として取り組んでいく。

**A** 町内の通学路を中心に571基の防犯灯を設置し、防犯カメラの設置と併せて自治会等への費用補助も行っている。また、スクールパトロール隊による車両での町内巡回や防犯用グッズの支援も行っている。

**Q** 町の防犯体制はどのように進められているのか。

**A** 地域子育て支援センターや子ども相談室を設置し、子育てに関する相談を受けているほか、一時預かり事業や子育て短期支援事業等を通じ、子どもの預かりを行っている。今後は、子育て等に関する一体的な相談支援ができるよう、菊陽町子ども家庭センターを設置予定である。

**Q** 子育てに悩む人たちが安心して子どもを預けられるよう、町はどのような取り組みをしているか。



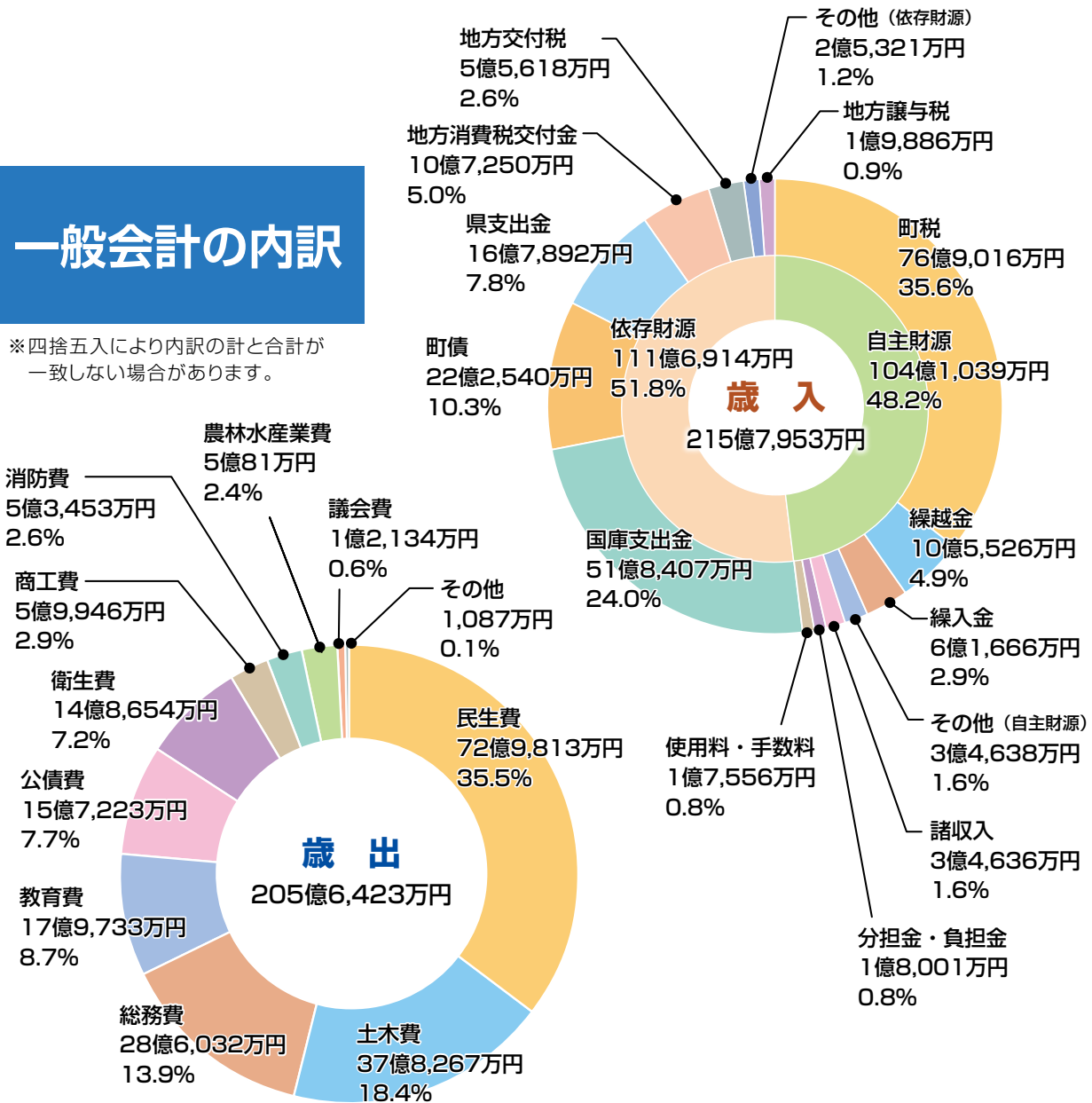
おかもと わたる  
岡本 渉 議員  
(武蔵ヶ丘中)

# 全7会計の決算額

		歳入	歳出	差引額
一般会計		215億7,953万円	205億6,423万円	
特別会計	土地取得特別会計	1億8,193万円	1億8,154万円	
	工業団地造成事業特別会計	1億 303万円	1億 303万円	
	国民健康保険特別会計	33億6,884万円	32億9,634万円	
	介護保険特別会計	27億7,167万円	26億8,502万円	
	後期高齢者医療特別会計	5億 1,429万円	4億9,665万円	
下水道事業会計		収入	支出	
	収益的収支	13億5,091万2千円	12億2,679万4千円	1億2,411万8千円
	資本的収支	24億9,147万8千円	28億6,406万円	3億7,258万1千円

## 一般会計の内訳

※四捨五入により内訳の計と合計が一致しない場合があります。



**自主財源**：自治体の権限で徴収できる財源で、町税、緑入金、緑越金で構成されている。

**依存財源**：国または都道府県からの交付またはその意思決定による財源で、町債、国・県支出金、地方交付税、その他の交付税、地方消費税等。



# 令和4年度 主な予算の使い方

- 1 各小学校の運営費、幼児教育など 12億7,943万円  
武蔵ヶ丘北小学校増築関係費 2億790万円



- 2 道路新設改良  
町道・公園・町営住宅の維持管理など 34億789万円



- 3 農業振興  
農道・水路の整備など 4億5,341万円



- 4 社会福祉、老人福祉、障がい者福祉、児童福祉、児童手当、  
ひとり親家庭・寡婦対策、保育所の運営など 62億281万円



- 5 各地域施設（放送施設）の整備、交通安全対策、防犯灯の設置、  
町内巡回バスの運行、電算システムの運用など  
25億7,943万円



- 6 企業誘致関係費 1億3,774万円  
菊陽町プレミアム付き復興券事業 3億2,912万円



- 7 子ども医療費助成、予防接種、健康相談、集団検診、  
清掃費など

12億7,132万円



## 付議事件

- ◇報告第11号 専決処分の報告（工事請負契約の変更（杉並木線横断歩道橋輸送架設工事））
- ◇報告第12号 専決処分の報告（損害賠償の額の決定及び和解）
- ◇認定第1号 令和4年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第2号 令和4年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第3号 令和4年度菊陽町工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第4号 令和4年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第5号 令和4年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第6号 令和4年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇議案第42号 令和4年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定
- ◇議案第43号 菊陽町町民センター設置条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第44号 菊陽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第45号 菊陽町農業振興地域整備促進協議会条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第46号 令和5年度菊陽町一般会計補正予算（第4号）
- ◇議案第47号 令和5年度菊陽町土地取得特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第48号 令和5年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第49号 令和5年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第50号 令和5年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第51号 令和5年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第1号）
- ◇議案第52号 工事請負契約の変更（杉並木線横断歩道橋屋根高欄工事）
- ◇議案第53号 財産の無償譲渡
- ◇議案第54号 指定管理者の指定
- ◇議案第55号 町道路線の認定
- ◇報告第13号 令和4年度決算に基づく菊陽町の健全化判断比率及び資金不足比率
- ◇報告第14号 有限会社さんふれあの経営状況
- ◇同意第4号 菊陽町教育委員会委員の任命
- ◇発議第8号 下水サーベイランス事業の実施を求める意見書（案）
- ◇発議第9号 LGBT理解増進法の廃止を求める意見書（案）

- Q** 財政調整基金はどれくらい増やしたいと考えているのか。
- A** 地方創生の臨時交付金を充当している。物価高騰に対する補助は続けていきたいと考えている。
- Q** 学校の給食費の国と県の補助割合と、今後の動向は。
- A** 7,803万円、土地の取得に対する分として4,391万円を計上している。
- Q** 学校給食費の国と県の補助割合と、今後の動向は。
- A** ほとんど平成25年以降改修を行っており、直近で改修する学校はない。
- Q** 農業の物価高騰対策の内容はどういうものか。
- A** 対象者は町内の農業者又は町内に事業所を置く法人、合わせて135件の経営体を想定している。
- Q** 機器更新が、令和6年度から5年間計上されている内容は。
- A** メールやスケジュール管理、会議室の管理などを行っているシステムのライセンス及びサーバー等の機器のリース契約が切れるため、令和6年度から新たに契約したいと考えている。
- Q** 企業誘致費の中の工場等立地促進補助金の内容は。
- A** 設備投資に関する分として7,803万円、土地の取得に対する分として4,391万円を計上している。

議案第46号  
令和5年度菊陽町一般会計補正予算（第4号）



らいを理想としているのか。  
**A** 年度末の残高で19億6,000万円以上を確保することを目標としている。  
**Q** 省エネ家電購入促進補助金の振り込みに関して、マイナンバーカードの口座とひもづける趣旨についての説明を。  
**A** マイナンバーカードの所有者だけを対象にした理由は、普及と利活用を促進するためである。

**議案第54号  
指定管理者の指定**

**内容** 菊陽町総合交流ターミナル及び菊陽町ふれあい農園の指定管理期間が、令和6年3月31日をもって満了となる。  
 新たに指定の期間を令和6年4月1日から令和11年3月までの5年間とする。

**Q** 指定管理については、複数の施設（総合体育館、図書館、さんさん公園等）があり、今後、一元管理の議論が出てきた場合、その期間は変更になることもあるのか。  
**A** 状況によって変更していく必要がある。公園、総合体育館を抱えており、また、「さんふれあ」があるので、一元管理というのが一番好ましいが、用途が全然違うので関係課と協議を

していく。

## 議員の賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		鬼塚	吉村	藤本	馬場	廣瀬	矢野	大久保	西本	佐々木	中岡	布田	佐藤	甲斐	岩下	上田	小林	坂本	議長	
		賛成	反対																			
認定第1号	認定	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
認定第4号	認定	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第5号	認定	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第6号	認定	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第8号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第9号	否決	8	8	○	●	●	●	○	●	○	●	欠	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●

※議長は議事進行のため賛否表明はしません。（ただし同数の場合は賛否を表明する）

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。（それ以外は原案の通り可決）

# 令和5年度第2回菊陽町議会臨時議会 7月13日

- ◇報告第10号 専決処分の報告（損害賠償の額の決定及び和解）
- ◇議案第38号 工事請負契約の締結（下戸橋橋梁補修2期工事）
- ◇議案第39号 工事請負契約の締結（武蔵ヶ丘北小学校校舎新築工事（建築））
- ◇議案第40号 工事請負契約の締結（武蔵ヶ丘北小学校校舎新築工事（電気設備））
- ◇議案第41号 工事請負契約の締結（武蔵ヶ丘北小学校校舎新築工事（機械設備））

**報告第10号**  
専決処分の報告  
（損害賠償の額の決定  
及び和解）

**内容** 公用車の物損事故において、示談交渉和解成立  
損害賠償額18万円

**議案第38号工事請負契約の締結**  
（下戸橋橋梁補修2期工事）

**内容** 下戸橋は菊陽町戸次地区と大津町下町をつなぐ橋。昭和31年に整備され、老朽化と平成28年の熊本地震に伴う損傷により昨年から補修工事を行っている。

2期工事  
工事費条件付一般競争入札8,684.5万円にて契約

**議案第39号工事請負契約の締結**  
（武蔵ヶ丘北小学校校舎新築工事（建築））

**内容** 本年度4年生が35人学級、6年度5年生、7年度6年生すべての学級が35人学級になるため、教室不足に対応し、併せて大規模改修工事の際に使用する

る教室を見据えた校舎建築工事  
建築費は、指名競争入札4億4,660万円にて契約

**議案40号工事請負契約の締結**  
（武蔵ヶ丘北小学校校舎新築工事（電気設備））

**内容** 校舎新築工事と併せて施工する電気設備工事  
工事費、指名競争入札6,688万円にて契約

**議案第41号工事請負契約の締結**  
（武蔵ヶ丘北小学校校舎新築工事（機械設備））

**内容** 校舎新築工事と併せて施工する機械整備工事  
工事費、指名競争入札8万円  
議案38、41号は原案のとおり可決

## 付託案件を慎重審議



# 常任委員会報告

- 経済産業建設常任委員会
- 総務住民生活常任委員会

- 文教厚生常任委員会

## 令和5年第3回定例会・委員会付託案件

◇認定第1号 令和4年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定

### 全常任委員会

◇認定第2号 令和4年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定

### 総務住民生活常任委員会

◇認定第3号

令和4年度菊陽町工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定

### 経済産業建設常任委員会

◇認定第4号

令和4年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

◇認定第5号

令和4年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

◇認定第6号

令和4年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

### 文教厚生常任委員会

◇議案第42号

令和4年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定

### 経済産業建設常任委員会

### 商工振興課

4億円の税収を生み出しているたばこ販売補助金は喫煙マナーの向上に使用。プレミアム付き振興券の販売は、販売収入が約2億円。5千円券を4万部販売したが、経費や差額は国と県が負担し、町の負担は発生していない。

認定第3号の繰り出し金は、一般会計に繰り出したのち、今後の企業誘致のための環境整備に支出予定。なお原水工業団地、第2原水工業団地とも完売して、緑地等公共用地を貸付している。

### 農業委員会

現地調査用のタブレットパソコン5台購入。全国で同時に数万台導入され、非常に安価に必要なソフトウェアが整備されている。特に現地調査アプリによりGPSで現在地を把握し、アプリ内の農地台帳情報で地権者や面積地番をその場で確認ができるようになった。

また今後の菊陽町農地のために、農業委員や農地利用最適化推進委員の研修が必要。農地の売買・転用を行う際には農業委員会に相談す



## 経済産業建設常任委員会

委員長：矢野厚子

る認識を定着させる。

### 農政課

農家の担い手への集積を図るため、農地の貸し手及び借り手に補助金を交付している。令和4年度は貸し手に92万8千円、借り手に49万8千円となっている。

### 建設課

橋梁長寿命化策定業務の対象60橋の計画策定を行ったが、早急に補修や架け替えが必要な橋梁はなかった。調査結果は町のホームページに掲載。

町営住宅の家賃滞納があるが、改善している。更に今後は顧問弁護士に相談したり、近隣市町を参考にして、家賃徴収の研修を行う。

道路沿線緑化業務委託料は、県の積算した内容を確認して、対象地区に配分している。作業参加者が減り、困難になった場合は各区の総意を区長に確認の上、県に管理を戻す。

### 下水道課

雑収入として、下水処理場で発生したメタンガスを利用して発電した売電収入がある。今後の、宅地化に対応した下水道事業は、県に主体的に取り組んでもらい、流域下水道の事業の方向性を示してもらおう。ただ、現時点では想定した範囲内なので、問題はない。

マンホールトイレについては、令和4年度に杉並木公園に6基設置済み。今年度はふれあいの森公園に4基設置予定。今後は危機管理防災課と打ち合わせながら、総合地震対策変更計画で反映し進める。

## 都市計画課

大規模盛土変動予測調査事業について、3箇所の対象地の現地調査を行ったがいずれも緊急性は低い。今後は経過観察対応とする。

除草作業手数料約168万円は公園6箇所、町有地2箇所の6箇所で、外部に委託している。

## 文教厚生常任委員会

委員長・大久保輝

### 学務課

教育相談員、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、学校教育アドバイザーは不定期であるが、連絡会を実施し、子どもたちや家庭の状況を情報共有しながら連携している。

### 生涯学習課

中央公民館や社会福祉協議会等の施設は建て替えの時期に来ている。今後協議を進めていきたい。

### スポーツ振興課

全国大会出場や沖繩が会場である場合に、一人2万円の激励金を出している。

### 図書館

電波法の改正により、既存のワイヤレスマイクが使用できなくなるため設備を購入した。

### 介護保険課

菊陽町福祉事業者等一時支援のうち、介護保険課で支給を行なった内訳は、事業者数35で439万円を支給。補助内容は新型コロナウイルスの影響

による物価高騰対策に係る経費であれば対象としている。

### 健康保険課

きくよう健康倶楽部加入者は年々増加しており、会員の8割以上が入会前に比べて歩く機会が増えている。

### 子育て支援課

私立保育所保育委託料、施設型給付費及び地域保育給付費を支給している施設は、私立保育所11施設、認定こども園3施設。地域型保育事業として、小規模保育事業・事業所内保育事業・家庭的保育施設の7施設。

### 福祉課

民生児童委員の定数67名に対して、現人数は56名。民生委員は、民生委員法で無給となっているが、町の支援策として活動費等を協議会に助成している。また、なり手不足の対策として、職員の退職説明会等でお願するなどを検討している。

### 現地視察

建て替えた菊陽北小学校給食室の視察及び給食の試食を行なった。



## 総務住民生活常任委員会

委員長・廣瀬英一

### 三里木町民センター

女性の福祉向上から、男女共同参画事業は今後も推進していく。

### 人権教育・啓発課

団体活動助成事業は部落差別解消を進めていくために続けていく。

### 財政課

菊陽町の企業が稼働後に固定資産税の税収が伸びて不交付団体になる可能性はある。その場合は不交付団体が長期間継続することが考えられる。

### 総合政策課

ふるさと納税寄附金は現在、約480品目の登録があり、その半数以上が農産品や農産加工品である。地場産品の基準に沿って町で作られているものを返礼品としている。

### 会計課

令和4年度の実績は、窓口収納が75,405件、口座振替が57,101件、コンビニ収納が48,936件となっており、納付方法の傾向としては、コンビニ収納が増加傾向にある。

### 議会事務局

議会にタブレットを導入したことにより、紙を使わずにサイドブックにファイルとして掲載したため、かなりのペーパーレスの効果があった。今後は執行部もタブレット端末を導入することから、議会の議案のペーパーレス化は大きな効果があると思われる。

## 危機管理防災課

防犯カメラは光の森駅、三里木駅、原水駅に設置している。区や事業所が申請して設置されたカメラの台数は30箇所50台である。

令和4年度の免許証返納に伴うタクシー利用券の実績は、5000円と100円券があり、合計6,673枚で184万900円となっている。

### 税務課

固定資産税の個人と法人の割合は個人が35%、法人が65%である。

### 町民課

令和5年8月末現在でマイナンバーカード普及率は76.1%、外国籍人口が709人である。

### 環境生活課

赤ごみ袋は強度が弱い。熊本市などの情報も得ながら素材を考えていく。

### 現地視察

菊陽町総合体育館は850名収容出来る町最大の指定避難所、駐車場約450台、簡易トイレ11基整備、備蓄倉庫には毛布、850人の3日分の食料などを常備。





# 議会の活動状況

## ●議長・全議員の公務記録

議長の公務記録

全議員の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者	場所
6月16日	菊池地域農業協同組合 通常総代会	菊池地域農業協同組合	菊池市文化会館
6月18日	熊本57号滝室坂トンネル新設工事貫通式	国土交通省	熊本57号滝室坂トンネル
6月21日	菊陽町シルバー人材センター定時総会	菊陽町シルバー人材センター	中央公民館
6月22日	菊陽町人権教育推進協議会総会	菊陽町人権教育推進協議会	防災センター 1F
6月26日	議会・行政政策協議	町・議会	正副議長室
7月 7日	大津地区防犯協会連合会総会	大津地区防犯協会連合会	大津警察署
7月 8日	阿蘇くまもと空港周辺4ヶ町村議会議長・事務局長会議	阿蘇くまもと空港周辺4ヶ町村議会	西原村役場
7月10日	市街化調整区域活性化連絡協議会総会	市街化調整区域活性化連絡協議会	益城町交流情報センター
7月13日	臨時議会	町	議場
7月13日	全員協議会	議会	委員会室
7月13日	交通混雑緩和・解消に関する特別委員会	議会	委員会室
7月18日	宝山郷友好交流締結式	町	菊陽町役場
7月21日	菊池広域連合議会臨時会	菊池広域連合	菊池広域連合議会
7月22日	杉並台夏祭り	杉並台区	杉並台公園
7月24日	国道443号整備促進期成会総会	国道443号整備促進期成会	熊本テルサ
7月24日	食品衛生協会総会（代理）	食品衛生協会	杉並木公園管理C
7月25日	菊陽町議会議員研修	菊陽町議会	委員会室
7月25日	中九州・地域高規格道路促進期成会総会	中九州・地域高規格道路促進期成会	竹田市
7月27日	広報調査特別委員会	議会	委員会室
7月31日	議会運営委員会	議会	委員会室
8月 2日	九州地方整備局長、九州地方整備局道路部長訪問	町	九州地方整備局
8月 2日	千歳市議員との懇談会	町（議会運営・各常任委員長）	菊陽町役場
8月 3日	白川改修・立野ダム建設促進期成会 要望活動	白川改修・立野ダム建設促進期成会	熊本河川国道事務所
8月 3日	地域高規格熊本環状道路建設促進期成会要望活動	地域高規格熊本環状道路建設促進期成会	熊本河川国道事務所
8月 7日	交通混雑緩和・解消に関する特別委員会	議会	委員会室
8月 8日	こども議会	菊陽町教育委員会	委員会室
8月 8日	白川改修・立野ダム建設促進期成会 要望活動（台風により中止）	白川改修・立野ダム建設促進期成会	九州地方整備局
8月 8日	地域高規格熊本環状道路建設促進期成会要望活動（台風により中止）	地域高規格熊本環状道路建設促進期成会	九州地方整備局
8月10日	全員協議会	議会	委員会室
8月18日	菊池地域市町議会議員研修会	菊池広域連合	大津町
8月19日	上津久礼川施餓鬼法要（代理）	上津久礼区	上津久礼グラウンド
8月19日	菊陽町現・退職校長会総会	菊陽町現・退職校長会	教育委員会
8月19日	緑ヶ丘夏まつり	緑ヶ丘区	緑ヶ丘公民館
8月21日	地域高規格熊本環状道路建設促進期成会要望活動	地域高規格熊本環状道路建設促進期成会	国土交通省本省、財務省
8月22日	白川改修・立野ダム建設促進期成会 要望活動	白川改修・立野ダム建設促進期成会	国土交通省本省、財務省
8月22日	正副議長研修会（代理）	県町村議会議長会	自治会館
8月24日	更生保護女性会菊阿ブロッコ研修会大会	更生保護女性会	菊陽町図書館ホール
8月26日	ソニー熊本テック夏祭り	ソニー熊本テック	ソニー熊本テック
8月29日	熊本阿蘇幹線道路整備促進期成会総会	熊本阿蘇幹線道路整備促進期成会	大津町
9月 3日	熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会総会	熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会	熊本テルサ
9月 5日	第3回定例会 開会	町	議場
9月 6日	第3回定例会 一般質問	町	議場
9月 7日	第3回定例会 一般質問	町	議場
9月 8日	第3回定例会 一般質問	町	議場
9月15日	第3回定例会 議案審議	町	議場
9月16日	第78回熊本県民体育祭 菊池地域・山鹿大会 総合開会式	第78回熊本県民体育祭実行委員会	合志市総合センターヴィーブル文化会館
9月16日	地域女性の会「タベのつどい」	地域女性の会	さんふれあ
9月19日	第3回定例会 委員長報告、閉会	町	議場
9月20日	菊陽町都市計画審議会	町（各常任委員長）	菊陽町役場
9月21日	菊陽町建築業組合町政懇談会	菊陽町建築業組合	さんふれあ
9月22日	金婚夫婦表彰式典	町	図書館ホール
9月24日	中九州横断道路大津熊本道路着工式	九州地方整備局	御代志市民センター
9月26日 ～29日	議会台湾TSMC研修	議会	台湾（宝山郷他）
10月 3日	厚真町商工会視察	産業振興部	防災本部署
10月 6日	菊陽町総合体育館落成式	菊陽町	菊陽町総合体育館
10月 7日	令和5年度健康ウォーク	菊陽町社会福祉協議会	杉並木公園さんさん
10月 8日	第8回夢街光の森会秋まつり	夢街光の森会	ひかりの森公園
10月10日	議会意見交換会（区長会理事）	議会（議会運営委員長・各常任委員会の正副委員長）	三里木町民センター
10月15日	武蔵ヶ丘コミュニティセンター祭	町	武蔵ヶ丘コミュニティセンター

# 議会の活動状況

## ●議会運営委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月31日	第6回議会運営委員会	議会運営委員長	委員会室
8月29日	第7回議会運営委員会	議会運営委員長	委員会室

## ●総務住民生活常任会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
9月11日	総務住民生活常任委員会	町	2階会議室
9月12日	総務住民生活常任委員会	町	2階会議室

## ●文教厚生常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
9月11日	文教厚生常任委員会	町	委員会室
9月12日	文教厚生常任委員会・現地視察	町	委員会室
10月7日	菊陽町健康ウォーク	菊陽町社会福祉協議会	杉並木公園さんさん

## ●経済産業建設常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
9月11日	経済産業建設常任委員会	町	役場別館
9月12日	経済産業建設常任委員会・現地視察	町	役場別館
9月24日	中九州横断道路着工式	九州地方整備局	御代志市民センター

## ●広聴特別委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
6月15日	第1回広聴特別委員会	広聴特別委員会	委員会室
9月14日	第2回広聴特別委員会	広聴特別委員会	委員会室
10月10日	菊陽町区長会との意見交換会	議会	三里木町民センター

## ●交通混雑緩和特別委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月13日	交通混雑緩和・解消に関する特別委員会	交通混雑緩和特別委員会	委員会室
8月7日	交通混雑緩和・解消に関する特別委員会	交通混雑緩和特別委員会	委員会室
9月15日	交通混雑緩和・解消に関する特別委員会	交通混雑緩和特別委員会	委員会室

## ●広報調査特別委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月13日	広報委員会（6月議会だより1校作成）	広報調査特別委員会	委員会室
7月27日	広報委員会（6月議会だより2校作成）	広報調査特別委員会	委員会室
8月4日	広報委員会（6月議会だより3校作成）	広報調査特別委員会	委員会室
8月8日	広報委員会（6月議会だより最終校作成）	広報調査特別委員会	委員会室
9月19日	広報委員会（9月議会だより担務割）	広報調査特別委員会	委員会室

## ●大津菊陽水道企業団

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
8月17日	定例議会（決算報告）	大津水道企業団	議会室
9月21日	現地視察	大津水道企業団	大津菊陽の各施設

## ●菊池広域連合

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月21日	第1回臨時議会	菊池広域連合	議会室
9月21日	菊池広域連合概要説明会	菊池広域連合	菊池環境工場クリーンの森合志等



坂本 秀則	TSMC第2工場の本町誘致は進んでいるのか	…P14	吉村 恭輔	高齢者の免許証返納への支援策は	…P15
廣瀬 英二	役場庁舎を含めた改修事業の方向性は	…P15	甲斐 榮治	水をどう管理するか	…P16
西本 友春	小中学校へのエアコン設置を加速すべき	…P16	上田 茂政	令和6年度から不交付団体になるのか	…P17
佐藤 竜巳	久保田台地周辺道路整備で町発展に繋がるのでは	…P17	藤本 昭文	TSMC進出によるメリット・デメリットは	…P18
大久保 輝	LGBT理解増進法成立後のトラブル対応策は	…P18	中岡 敏博	認知症等行方不明者の早期発見と見守り活動は	…P19
小林 小み子	水資源を守るためにも農家への支援を	…P19	馬場 功世	南小学校区に集住ゾーンの設定はできないか	…P20
鬼塚 洋	本町における子どもの貧困対策は	…P20			

一般質問は会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で校正し、掲載しています。

## Q TSMC第2工場の本町誘致は進んでいるのか

A 町長自ら先頭に立ち積極的に誘致を働きかけて行く



坂本 秀則 議員

- Q** 地下水涵養に繋がる主食用米作付け水田に対しての補助事業の実施要項等作成したか。

**A** 補助金額・実施時期等含め関係機関と協議を進めている。
- Q** 切迫する下水道事業について進展はあったか。

**A** 事業者排水を対象とする下水道事業の新規採択等が、国土交通省の概算要求に盛り込まれるなど対策に向けた準備が進んでいる。
- Q** 役場本庁舎は、大規模改修なのか新築で建て替えるのか町長の考えは。

**A** 新築で考えている。
- Q** スポーツ振興及び健康増進の為に全小学校・中学校にナイター設備を設置するべきではないか。

**A** 整備に対しては、効果を検証し、環境に配慮しながら取り組んでいく。
- Q** 新野球場建設構想は、進んでいるのか。

**A** 庁舎内での勉強会を開催しており、来年度以降に方向性を決める。
- Q** 原水工業団地周辺の地権者等を対象に農地売買の法令等のルールを積極的に周知する時ではないか。

**A** 原水工業団地周辺の農地で不動産事業者の動きがみられる事や耕作放棄も確認されているので、周辺の馬場・柳水・入道水・古ヶ原地区の土地権利に対し農地転用に関する説明会を実施する。



JASM東側工業用地風景



水稲作付け水田風景



**Q 高齢者の免許証返納への支援策は**

**A 免許証返納された高齢者に3万円分のタクシー券を交付**



よしむら きょうすけ 吉村 恭輔 議員

**Q** 町が行っているタクシー利用券の申請者数は何名か。

**A** 事業を開始した令和元年10月1日から令和5年8月31日までに、440名の申請者があり、毎年約100名の方が申請されている。

**Q** タクシー利用券をキャロッピー号で使えるようには出来ないか。

**A** 関係機関と協議をし、出来るだけ使えるように考えている。

**Q** 高齢者の免許証返納を推進する事を考えても公共交通網の拡充は必要と考えるが、今後キャロッピー号を充実させていく考えはあるのか。

**A** 今後の町の地域公共交通計画を策定したいと考えている。計画の内容を検討していく中でキャロッピー号を含めた公共交通網の在り方を検討していく。

**Q** 菊陽町においてヤングケアラーまたはその疑いがある者も含めて対象者は何名いるのか。

**A** 令和5年8月に町教育委員会ではヤングケアラーに関する実態調査を実施しており、5名をヤングケアラーまたはその疑いがある者として認識している。

**Q** ヤングケアラー状態にある児童や生徒への支援体制は。

**A** 令和3年11月にこども総合相談室を設置し、臨床心理士や精神保健福祉士などの専門職員が子どもとその保護者に関する相談であればワンストップで受け付ける体制を整備している。



**Q 役場庁舎を含めた改修事業の方向性は**

**A 庁舎の整備については、新築で進めていきたいと考えている**



ひろせ えいじ 廣瀬 英二 議員

**Q** 役場庁舎を含めた大規模改修事業について、これまで財政面から改修事業を進めていくのとこのことであった。TSMC等の進出により町の状況は大きく変わってきたことから、新築も含めた事業も検討していく内容に変わってきたが、現時点でわかる進捗状況は。

**A** 「建設系施設の整備に係る方向性の検討会「議」において、庁舎整備等の方向性について協議を続けているが、庁舎の整備については、新築で進めていく考えである。



**Q** 建て替えの検討を進める中で、今日の様変わりした菊陽町に至るまでの歴史及び文化財などを後世に伝えていく歴史資料館の必要性を町はどのように考えているのか。

**A** 文化財保護の観点から、歴史資料の保存のための施設や、活用のためから直接観たり触れたりする機会の提供は重要である。現時点において、展示可能な資料が少ない状況であるが、今後は既存公共施設の再配置の動向に注視しながら、歴史資料や、町の歴史を伝える展示コーナーの設置について検討していく。

その他の質問

- ・職員の年休取得状況
- ・文化財の保存と保護
- ・高齢者支援

**Q** 水をどう管理するか

**A** 水量・水質保全に万全を尽くす



水田湛水事業



豊かな阿蘇の伏流水

かい えい じ  
**甲斐 榮治** 議員



**Q** 第2工場が第1工場に近接すると仮定すれば、使用水量はどうなるか。  
**A** 地下水採取申請書では当初の1万2千m<sup>3</sup>から8千5百m<sup>3</sup>へと減少している。水の循環率も70%から75%へと引き上げられた。循環は3回半おこなわれる。第2工場については未定なので、現時点では使用水量はわからない。第2工場の設置が決定した場合には、必要な調査がなされ、地下水涵養の仕組みも整えられ適切な採取となる。

**Q** 地下水汲み上げ時点での汚染の可能性はないか。  
**A** 汚染の可能性はない。使用後の水はPFA

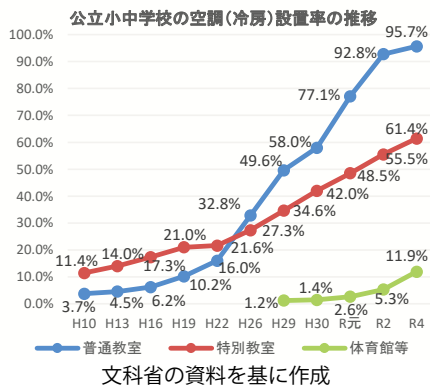
**S** (有機フッ素化合物)を含むとされているが、浄化の技術は万全か。河川や海は汚染されないか。  
**A** TSMCはAWS(世界の工場を対象とした持続可能な水利用に関する国際承認)で認められた最高位の除去技術を持っている。処理水はさらに公共下水道の浄化施設に送られ、基準値以下にした後、放流される。

**Q** TSMCの進出で状況は激変した。現総合計画は見直すべきではないか。  
**A** その激変を踏まえ、第6期総合計画を見直すのではなく、町長の72の公約も盛り込んだ第7期総合計画策定に着手する。

**Q** 小中学校へのエアコン設置を加速すべき

**A** 来年度は、武蔵ヶ丘中学校の体育館と武道場の設計に取り組む

にし もと とも はる  
**西本 友春** 議員



**Q** 体育館へのエアコン設置には、総務省の「緊急防災・減災事業債」、文科省では公立小中学校体育館へのエアコン設置の補助制度を本年度から1-2に引き上げられた。現在、菊陽中学校だけがエアコンが設置されているが、補助制度が25年度までとなっており、小中学校の体育館へのエアコン設置を加速すべきと提案するがどのように考えているのか。  
**A** 小・中学校の体育館は、子どもたちの教育、生活の場であり、運動や集会で体育館を利用する子どもたちの熱中症などによる健康被害の予防と対策が求められる。

また、災害時においては、避難所としての役割を果たすものであり、エアコン設置は、町として喫緊の課題であり、早急に整備を進める必要があると考えている。

当初計画では、菊陽中学校での利用状況や、維持管理経費などを含む課題を整理して、その上で、他校への整備を順次行う計画としていたが、コロナ禍による利用の影響もあり、整理ができていないので、本年度中に、利用実績を基に整理をし、来年度は、武蔵ヶ丘中学校の体育館アリーナと武道場について空調設備工事の設計に取り組みたいと考えている。

**その他の質問**

- ・動物愛護の取り組み
- ・空き缶とペットボトルの回収
- ・小中学校への給水スポットの設置
- ・結婚新生活支援事業
- ・おたふくかぜワクチンの助成時期
- ・带状疱疹予防接種への助成



**Q 令和6年度から不交付団体になるのか**

**A** 大企業進出による税収増で令和6～7年度になると思われる



う え だ し げ ま さ  
**上田 茂政** 議員



**Q** 固定化している経常的経費、義務的経費が多くを占めており、投資的経費が限られてくるという状態になる。これは人口が増えていることも大きい要因。子どもや年配者が増えれば教育費、民生費などが増える。今後、原水駅北側の開発や、TSMC進出に伴う事業も必要になってくるが、政策的な投資に対して予算の確保はどうなっていくのか。

**A** 近年、増加傾向だが、経常収支比率は各年度で増減はあるものの、全国平均より下回っている。今後どのように政策を展開していくか、詳細な制度設計や必要な予算などを整理し、財政状況をみながら実施時期を決めていく。

地方債残高は令和4年度末で174億円になる。各種指標をみながら、後年度の負担が必要以上に大きくならないよう、適切な財政運営に努める。

**その他の質問**

- ・県道住吉熊本線など渋滞問題
- ・雨水浸透策、地下水かん養対策

**Q 久保田台地周辺道路整備で町発展に繋がるのでは**

**A** 危険な道路と認識、都市計画マスタープランの中で議論し整備を進める



さ と う た つ み  
**佐藤 竜巳** 議員



**Q** 川久保南方線不交差の坂道整備を今後どのように進めるのか。また町道南方大人足線を県道瀬田竜田線に接続することで町の発展と考えるが。

**A** 現在瀬田竜田から下井出まで道路整備は、完成している。質問の道路幅も狭く離合も困難で、苦情や要望も多く整備が必要と認識。また久保田台地は町発展地域と考え都市計画マスタープランで整備できるよう検討する。

**その他の質問**

- ・南方区民から生活道路舗装の要望
- ・柳水湧水公園管理対策は
- ・スポーツ広場を人工芝に
- ・国が進める中学校部活動廃止に対する町の考え
- ・町を守る見守り隊、交通指導員に感謝状の贈呈を



**A** 農地は、限られた資源であるが、JASMの進出で、農地の除外や開発の相談が多く寄せられている。守るべき農地の保全に努め町全体で調和の取れた適切な土地利用を計画したいと考える。



**Q TSMC進出によるメリット・デメリットは**

**A** どちらも、町民の周知と理解が進むよう、しっかり情報発信する



ふじもと あき 藤本 昭文 議員



**Q** 現在、本町ではTSMCの進出による、メリット・デメリットについての議論が様々な形で行われているが、どれも綿密な検証に基づくデータや科学的根拠に乏しく、町民の不安払拭に至っていない。町は早急にこの問題に取り組み、メリット・デメリットについてしっかりとした根拠を示し町民に開示するべきと考えますが、町の考えはどうか。

**A** 報道等でも渋滞や地下水など、デメリットに注目が集まり、町民の懸念も高まっているが、町や企業の積極的な取り組みなどデメリットの最小限化を図るための状況や対策を周知のうえ、理解を得ていく。メリットについては、企業からの税収増加だけでなく、雇用の創生、人口増加に伴う住民税の増加、日常生活に伴う経済効果、さらなる半導体関連企業の集積が予想される。

税収の増加は、福祉の増進、インフラ整備、子育て支援、高齢者福祉、日常生活の支援などの形で広く町民に還元されると考えている。メリットについても、周知と理解が進むよう、しっかり情報発信することにより、多くの皆さまに知って頂けるよう対応していく。

**その他の質問**

・交通渋滞対策におけるソフト面の強化

**Q LGBT理解増進法成立後のトラブル対応策は**

**A** 関係機関とどのような対応が良いか、相談しながら今後対応していく



おおくほ あきら 大久保 輝 議員

**Q** ふるさと寄付金における返礼品として、農産品、農産加工品を増やすための取組ができないか。

**A** 人気がある農産物の返礼品については、寄附者が用途に合わせ選択しやすいように、同じ返礼品でも別容量のもの追加登録を始めている。ほかにも、農政課、商工振興課と連携しながら、農産品、農産加工品を扱う新たな事業者の発掘もおこなっていく。

**Q** 光の森防災広場隣接地、残り約1ヘクタールの今後の活用方法などについて、町として今後の活用方法など、計画があるのか。

**A** 現時点で具体的な計画はないが、町民の意見も集約した上で、町民にとって有効な活用を検討していく。なお、新たな総合計画の策定に着手するので、その中で意見を集約し、活用について方向性を示していきたい。

**Q** 新型コロナワクチン接種の告知と同時に、予防接種健康被害救済制度についても周知しておくべきではないか。

**A** 今現在起こっている副反応についても速やかに閲覧できるように工夫をしていく。健康被害についても、町のホームページで周知ができるような工夫もしていく。



光の森防災広場隣接地

**その他の質問**

・マイナンバーカード

**Q 認知症等行方不明者の早期発見と見守り活動は**

**A** 認知症等の人々が安心して暮らせるまちづくりをめざし取り組んでいる



なか おか とし ひろ  
中岡 敏博 議員



**Q** 熊日新聞でも掲載された、認知症行方不明者が10年で倍増している。また、認知症やその疑いがあり、行方不明者として2022年に全国の警察に届出があった件数は、延べ1万8,709人であった。熊本県警察のゆっぴー安心メールに行方不明者手配として配信されることが、最近とても多く感じている。本町では早期発見のために必要である見守り活動などについて、さらに地域ネットワークの構築、関係機関との情報の共有が必要であると考えられるがどのように取り組んでいるのか。

**A** 認知症高齢者に対し地域で見守る体制強化を目的に、チームオレンジの設置に向けた準備を進め、認知症の人が安心して暮らせるために5つの視点による取り組みを継続的におこなっている。  
 ○認知症を自分事として考える啓発活動を行う。  
 ○認知症高齢者等が行方不明になる前に家族が事前に備える。  
 ○認知症サポーターなど地域の人材のつながりを育てる。  
 ○行方不明に備えて関係者が起動力を高める。  
 ○普段から地域で見守る体制を強化する。

**その他の質問**

- ・交通事故発生状況
- ・通学路交通安全対策
- ・安全安心マップの作成、HPへの掲載
- ・こども110番の家の周知と役割
- ・みんなを守る家の設置

**Q 水資源を守るためにも農家への支援を**

**A** 生産意欲向上のために安定した収益が必要であり、支援を検討中



こ ば や し こ  
小林 くみ子 議員



水張りをしている水田

**Q** 水循環型営農事業について確認したい。水張りの取り組み状況と稲作農家は補助の対象にならないのはなぜか。対象とすべきではないか。  
**A** 熊本市・大津・菊陽で計330ヘクタール。稲作農家に補助がないのは、米の過剰生産を抑える国の政策（減反政策）の中で開始した事業であるため。生産意欲向上のために安定した収益は必要と考える。町としてか、企業の協礼金からの交付かは答えられないが、令和6年度の作付けに向け検討したい。今後取りまとめ、関係者に周知したい。

**Q** 農業を守って水を守るといふ観点から考えてほしい。農家数は20年前と比べて約半分減少している。主食米の作付けも大幅に減少している。また、一反当たり6万円しかならず、経費の方がかかる。後継者もいないという深刻な状況だ。日本の食料自給率はわずか38%と低すぎる。地下水と同時に、農業を守る施策が必要である。農業を守るために国や県にぜひ働きかけてほしい。  
**A** 働きかけは、重要になってくる。町として考えながらやっていく。

**その他の質問**

- ・JASMが、汲み上げ分を100%涵養する具体的事業は

**Q** 南小学校区に集住ゾーンの設定はできないか

**A** 都市計画マスタープランの改正の中で検討する



馬場 功世 議員



曲手地区の集落内開発

**Q** 南小学校区の現状は市街化調整区域に位置づけられており、集落内開発区域内にしか住宅は建設できないため2世代、3世代が減少、集落は衰退している。また、県道瀬田線沿いには、コンビニもない状況である。既存集落を中心に集住ゾーンを設定して新たな住民の受入を容易にし、既存集落の衰退を防ぎ生活環境及び地域活力の向上を図るべきと考えるが町の考えは。

**A** 集落内開発区域に空きがあることから、道路や下水道などインフラ整備の問題からまず集落内開発制度を進めたい。

町の指針に集住ゾーンを設定するかについては、都市計画マスタープランの改正に向けた土地利用の見直しに関する議論の中で検討する。また、店舗に関して現在の開発制度の中でも、市街化調整区域においてコンビニなど店舗の建築は可能である。

町としては、制度を最大限に活用し、既存集落の活性化につなぎたい考えである。都市計画制度の趣旨に反しないこと、農業的土地利用との調整が図られることなどを前提に制度の効果的運用について引き続き検討する。

その他の質問

- ・図書館ホールの改装
- ・白川堤防のかさ上げ
- ・社会福祉協議会キャロットサービス
- ・上津久礼の交通規制や道路拡幅

**Q** 本町における子どもの貧困対策は

**A** 個別事業の点検等を行い、子ども家庭センター設置に向けて準備を進める



おに つか 鬼塚 洋 議員



**Q** 町の18歳未満の子どものいる世帯中、生活困窮世帯の割合は。

**A** 4, 924世帯中、生活保護・準要保護世帯が298世帯で約6%であり、住民税非課税世帯が314世帯で約6.4%である。

**Q** 子どもの貧困対策プロジェクトの進捗は。

**A** 38項目の取り組みについて、概ね計画通り実施できている。今後、事業計画のフォローアップを行い、個別事業の点検や評価を行うとともに、子ども家庭センターの設置に向けて準備を進める。

**Q** 子ども食堂に対する町の支援状況は。

**A** 本議会の補正予算(承認済)で県の補助事業活用のための予算額を

計上しており、今後は運営支援も行っていく。

**Q** 学用品リサイクルに対する町の支援状況は。

**A** 就学費用援助制度を除き、現時点で町からの支援は行っていないが、当該活動を実施する団体等がいれば、支援策について検討していく。

**Q** 養育費の確保等に対する町の支援状況は。

**A** 町民課で養育費に関するパンフレット等を配布している。現状、町からの費用助成はないが、今後は、県が行う養育費に関する公正証書作成費用等の助成制度について情報提供を行っていく。

その他の質問

- ・ふるさと納税額の推移
- ・今後納税額を増やす取り組み



# 研修報告

## 菊池地域市町議会議員研修会

担当：馬場 功世

### 「半導体関連ビジネスについて」

開催日：令和5年8月18日（金）  
場所：エアポートホテル熊本  
講師：熊本県産業振興顧問  
「今村徹」氏

今村先生は、熊日新聞で私を語るコーナーに掲載されており、半導体について詳しく述べられている。日本は、アメリカとの貿易摩擦で世界の半導体製造のトップからやむなく退いた。また後発の韓国や台湾に技術を教えていた（先生曰く、こんなに早く追いつくとは思わなかった）自己完結型の製造から分業型の効率の良さから、1990年より世界の潮流は水平分業へ向かい垂直統合に固執した日本は取り残された。セミコン売り上げでTSMCが急速に伸びている。日本は半導体製造装置（前工程）メーカーの金額世界シェアは約31%中には80%を占める企業もある。日本は、装置の面で実力を発揮している。熊本県は、TSMC熊本進出

を機会に半導体産業の成長を促し、10年後には半導体出荷額を8千億円／年から1兆9千億円／年に伸ばすことを目標としている。10年後の菊池地域を中心とした熊本の未来予想

①TSMC（JASM）の第一工場、第二工場、さらにソニー、三菱電機の第二工場が稼働開始し、熊本県を中心とした九州でシリコンアイランドの再興が実現し、日本の経済安全保障を決定づける最重要地域となる。  
②台湾との交流を契機に、菊池地域を核とした熊本に異文化が融合したグローバル・シティが誕生する。

議員の役割は、半導体関連産業集積に関する疑問や不安の払拭。企業と地域の融和、地域振興・地域創生を図ることが重要。



## 令和5年度議会広報クリニック

担当：西本 友春

開催日：令和5年8月29日（火）  
場所：全国町村議員会館

1. 議会広報作成フレームワーク
2. 読者を意識した編集
3. 情報の構造化
4. 情報の表現
5. 議会広報クリニック（8町村）

一般質問のコーナーではQRコードを付けているところは、1つの町だけだったのでQRコードを付けたが良いと感じた。

菊陽町は基本16P構成だが、今回は12Pと22P構成の町村だったが12Pはさすがに、紙面割の面から行っても無理があると感じた。全国的にも優秀な町村は20P以上が殆どで、今後の紙面構成を含めて考える必要があると感じた。

### 6. 感想

・「誰に・何を・どのようになもう一度考える」ことの大事さを学んだ。

・伝えることと伝えることの難しさも理解出来たが、上手く伝えられるか今後の課題と感じた。  
・見出しの表現方法でカンマの有無で使わなくてもよいことと、見出しは20文字程度は参考になった。

・グラフ及び表組の表し方については、簡単なグラフが良いことと罫線を細く色分けした方が、見やすいことが理解できた。  
・写真は水平と垂直に取ることの大切さと、紙面のデザイン性ではデータを並べるのでなくグループで表した方が見る人が解りやすいことを学んだ。



# C 研修報告 9/26~29

本町は、令和5年7月18日、かねてより交流を深めてきた台湾新竹県宝山郷（ほうざんきょう）と友好交流協定を締結しました（協定内容は本町のホームページに掲載しております。）。

これに伴い、本議会議員16名と職員6名は、3泊4日の日程で台湾を訪問し、宝山郷の代表の方々にご挨拶の上、新竹サイエンスパークやTSMC関連施設等の視察を行いました。



**台湾基本データ**（外務省HPより）

面積	3万6千km <sup>2</sup> （九州よりやや小さい）
人口	約2326万人
主要都市	台北・台中・高雄
言語	中国語・台湾語等
宗教	仏教・道教・キリスト教
主要産業	製造業（電子部品、化学品、鉄鋼金属、機械）
実質経済成長率	2.95%

9月26日（火曜）

熊本空港から飛行機にて台湾桃園空港へ（約1時間半）  
 空港着後、バスにて台北市内のホテルへ  
 ホテル泊（ミラマーガーデンホテル）

空港の海岸沿いには多くの風力発電が存在していました。

交差点ではバイク専用のエリアがあり、信号は残り秒数が表示される等、交通が充実していました。



9月27日（水曜）

## 宝山郷公所（庁舎）訪問

宝山郷の職員の皆様から熱烈な歓迎を受け、宝山郷長のご挨拶の後、福島議長より挨拶を申し上げます。



## 宝山第2ダム視察

宝山第2ダムは一日20万トンの水をサイエンスパークに排出しているほか、上流水としても、新竹支等にも2.8万トンを提供しています。

## 新竹サイエンスパーク（新竹科学園区）研修

本区はシリコンアイランドとして最適な環境にあり、653ha（東京ドーム140個分）もの面積の中に、半導体・バイオテック・エマージンテクノロジー企業等、400社以上が集まっています。敷地内の4割以上が緑地でした。SDGs及びゼロカーボンを目指して、「RE100」と銘打って水を含めたりサイクル率100%を目指し、電気も再生エネルギー転換で2030年度を目標にゼロカーボンで取り組むこととしています。





# 議 会 台 湾 T S M

9月28日（木曜）

## TSMC本社研修 ※撮影は不可でした。

同社では、グリーンマニュファクチャリング（工場の環境負荷の低減）に取り組み、ESG（環境・社会・企業統治）管理について、各上層部の部門長が担当して、毎年進捗の会議を開催しています。また、ガスを発生しない取り組みを行っており、2025年はガス発生 の最高値として、2030減・2050“0”とロードマップを作成して管理しています。世界の半導体企業でも取り組みは第一位となっており、米国のLEED（グリーンビルディングの認証プログラム）の認証を受け、米国・日本の基準を満たしています。2018年5月にゼロカーボン宣言し、2020年5月に再生エネルギーの使用を開始し、2023は1億kWの節電となっています。

## TSMC工場の水処理設備見学 ※同上

施設面積はサッカー場で6面分あり、工場から排出された水は数十種類に分けられて、それぞれの分類によって再利用できるまでに処理を行っています。排ガスは洗浄し、基準値以下にして排出していますが、不可視・無臭のために確認することはできません。工場全体の水の再利用率は75%で、25%は排出しますが、污水处理施設で再処理を行い、基準値以下までにして排水を行っています。水の処理も「前処理」「中処理」「後処理」と工程を経て行っています。配管の耐用年数は20年となっていますが、水漏れ等がない限り、現在は耐用年数での交換は行っていないとのことでした。



## TSMCミュージアム見学

VRを体験し、現代技術の進歩に大変驚きました。VRと解っていても体が反応し、実際に自身が体験している間隔がハッキリとわかりました。

## 新竹十七公里海岸研修

新竹市では、出生率や学歴、所得が平均して高く、39歳の市長を筆頭に若い世代が多く、市全体として活力がありました。新竹市の海岸線は17kmあり、観光的にも価値が高く、市内には数十本の風力発電がありました。海岸の維持管理費は、年間予算で2000万元（日本の1億円）であり、環境保全（清掃一日2～3回）や植栽（草刈1回）、保養維持（半年）・損壊維持を行っています。



9月29日（金曜） 台湾桃園空港から飛行機にて熊本空港へ

## 総 括

TSMCは、SDGsや環境に対し、非常に真面目に取り組んでいる企業でした。水に対する意識も高く、空調の水も利用していることについては、私たちも発想の転換をしなければいけません。水処理施設の説明後、責任者の方より、TSMCの水処理技術の全てを熊本工場にも活かすと言っていただき、同社の熊本に対する強い思いを感じました。水処理技術の安全性については、同社の企業秘密があり、どこまで詳しく説明してよいか判断が難しいものの、安全性に対する取り組みをしっかりとお伝えさせていただきます。





## こども食堂 キッズレストランいと

代表 北村 光代

NPO法人チャイルドサポートきくちは『こども発育センターえるぴあ』等の事業所名で、児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・生活介護支援事業・相談支援事業等、障がいをお持ちの方々の多様化するニーズに日々努めさせていただき今年で12年目を迎える事ができました。

法人設立10年目に、いつもお世話になっている菊陽町の皆様へ恩返しが出来ないかと考え、念願でもあったこども食堂『キッズレストランいと』を令和4年6月にスタートし、定期的に武蔵ヶ丘団地内ほっとステーションで開催しています。

このネーミングは「来ていと・話していと・食べていと」や、人と人が『繋がる糸』をコンセプトに考え、名前の通り子ども達を中心に、地域の方々や協賛企業、行政、何より共に活動していただけるボランティアの皆様と繋がる事が出来ました。また、町内の学生さんが活動に参加してくれるなど、支援の輪が広がり感謝しております。

地域には様々な課題を抱え支援を待っている子ども達がいまますし、子育てに悩む家族もたくさんおられます。活動をしている中で、子育てに悩む若いお母さんから相談があり、本人の許可を得て行政に繋いだ事もありました。このような課題に早期に気づく事、何より子ども達とそのご家族とのコミュニケーションを一番に考え取り組んでいます。

地域の子ども達は地域で助け合いながら育てていく。これからも子育て世代の相談の場所、子ども達を中心とした皆様の居場所を作っていきたいと思っています。

これからも微力ですが、子ども達の笑顔を守れるように精一杯努めますのでご支援ご協力を賜りますようお願い致します。



### 編集後記

藤本 昭文

コロナ禍が過ぎ、早いものでもうすぐ半年が経とうとしています。皆様との暮らしにも少しは変化が見えてきた頃ではないでしょうか。

議会議員の役割は、町政の場で町と住民を繋ぎ、よりよい町づくり尽力することです。そのためより多くの場面で、様々なコミュニケーションが重要となります。

コロナ禍においては、その大切な機会を奪われることも多く、人と人との繋がりの大切さと、当たり前前の日常の尊さを再認識させられることとなりました。

この教訓を糧に、以前に増して皆様とのコミュニケーションに努め、町発展のために励む所存ですので、ご要望・ご意見などございましたら、当委員会までお気軽にご一報お寄せください。

みなさんの 傍聴を お待ちしております。

#### 議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会の広報委員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。

#### 発行責任者

編集者

議長

福島 知雄

委員長

西本 友春

副委員長

藤本 昭文

委員

廣瀬 英二

委員

馬場 功世

委員

吉村 恭輔

委員

鬼塚 洋

この議会だよりは再生紙を使っています。